

だからだと書いたものであったなら、このように評されることもな

- 1 田中重太郎「枕草子の風土」(白川書院・昭40) 七二、七三頁。
- 2 「枕草子」二二三段。
- 3 大養廉「枕草子に見える感覚美」(『解釈と鑑賞』昭31・1所載) 八二頁。
- 4 池田亀鑑「全講枕草子」(至文堂・昭38) 四八七頁。
- 5 註4と同書 三九七頁の要説。
- 6 「枕草子」一段。
- 7 「枕草子」七六段と二〇一段。
- 8 「枕草子」二八段。
- 9 風巻景次郎「自然観照における新傾向の発生」(『枕草紙』における自然観照の性質)「桜楓社・昭45」(風巻景次郎全集第六卷新古今時代)所載) 五四頁。
- 10 「枕草子」一八九段と一九〇段。
- 11 「枕草子」一三〇段。
- 12 「枕草子」二七八段。
- 13 池田亀鑑「美論としての枕草子」(『国語と国文学』昭5・10所載) 一九二頁。
なお、引用文中のワキテンは池田氏がうたれたもの。
- 14 与謝野晶子「清少納言の事ども」(春秋社・昭42)「与謝野晶子選集4晶子古典鑑賞」(与謝野光・新聞進一編)所載) 九七、九八頁。
- 15 「反射的」は「反射的」の印刷ミスか。
- 16 「枕草子」三一九段。
- 17 池田亀鑑「研究枕草子」(至文堂・昭38)の序。
なお「枕草子」本文の引用は「日本古典文学大系」所収本によった。

『愛聖』有島氏追憶号(大12・8) 目次

有島武郎に関する雑誌の追悼号、特集号等の目次は、角川書店「有島武郎集」(『日本近代文学大系』33)に掲載されており、また「復刻 或る女のグリンプス」(山梨英和短大)にも詳細な文献目録が付いている。しかるに前者には「愛聖」有島氏追悼号については全く触れられていず、後者では「伊藤証信編『有島氏追悼』号 愛聖第3号 大12・8」と記されているだけである。内田満氏の「研究文献私家版」は詳細をきわめている由で、多分「愛聖」も入っていると思われるが未入手で確認していない。内田氏の目録は、あまり一般的ではないようなので、「愛聖」の目次を念のため記しておくたい。

有島氏追悼号(『愛聖』第三号 大12・8・1 無我苑)

伊藤朝子「有島武郎氏を憶ふ」、伊藤証信「有島氏の本能的な生活と其情死」、原谷とよ「有島氏の死を聞きて(詩)」、伊藤朝子

「本能的な生活と自殺」、安藤現慶「有島氏と倉田氏の論争に就て」、十氏「読者の弔辞」

以上のほか口絵に「有島武郎氏の筆蹟」一ページがある。

(嘉部嘉隆)